



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月15日

上場会社名 AI CROSS株式会社 上場取引所 東
コード番号 4476 URL <https://aicross.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）原田 典子
問合せ先責任者 （役職名）執行役員CFO Strategic Operations Group本部長 （氏名）圖子田 健 TEL 050-1745-3021
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第1四半期	930	5.1	139	17.7	141	21.6	81	12.0
2024年12月期第1四半期	885	5.1	118	51.7	116	58.7	72	97.5

（注）包括利益 2025年12月期第1四半期 78百万円（1.7％） 2024年12月期第1四半期 77百万円（110.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	21.68	20.89
2024年12月期第1四半期	19.23	18.90

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第1四半期	2,226	1,798	78.1
2024年12月期	2,390	1,709	69.5

（参考）自己資本 2025年12月期第1四半期 1,739百万円 2024年12月期 1,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,300	16.0	400	19.4	390	19.6	210	41.4	55.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	4,037,350株	2024年12月期	4,037,350株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	281,904株	2024年12月期	281,904株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	3,755,446株	2024年12月期 1 Q	3,778,846株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

我が国における景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用、所得環境を改善し、各種政策の効果もあり緩やかな景気回復が継続することが期待されています。他方で、物価上昇の継続による個人消費への影響や、通商政策などアメリカの政策動向の影響が、我が国の景気を下押しするリスク及び、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況となっております。

当社グループのサービスを展開するビジネスコミュニケーションプラットフォーム関連の市場は成長を続けており、2029年度にはSMSの配信数が11,375百万通にも及ぶという調査結果（出所：デロイト トーマツ ミック経済研究所「ミックITリポート2024年11月号」）があります。SMSのビジネス利用が、本人認証や未入金督促等だけでなく、SMSの次世代規格である、「RCS (Rich Communication Services)」が適したプロモーション等の顧客コミュニケーション領域での活用が進むことで、関連市場は高い成長を続けていくものと予測されております。

このような事業環境の中、当社グループは「Smart Work, Smart Life」をミッションとし、コミュニケーションの次元を高めることを目指し、企業の更なる業務効率向上と、働く従業員の多様な働き方の革新を支援するため、メッセージングサービスであるSMS配信プラットフォーム「絶対リーチ！SMS」及びRCS配信及びチャットボットプラットフォーム「絶対リーチ！RCS」を展開し、配信数を拡大しております。また、収益性の高い国内顧客への注力及び金融や人材関連サービスを中心とした業界特化施策の実施、SMSサービスにAI技術を組合せ多様化する顧客ニーズへ対応した統合型ソリューションを提供しSMSの提供価値を進化させることで収益性を向上しております。

当社の連結子会社であるAIX Tech Ventures株式会社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したもののついて投資有価証券評価損7,185千円を計上いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高930,767千円（前年同期比5.1%増）、営業利益139,938千円（前年同期比17.7%増）、経常利益141,102千円（前年同期比21.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益81,400千円（前年同期比12.0%増）となりました。

なお、当社グループはSmart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて164,176千円減少し、2,226,078千円となりました。

これは主に、預け金が69,783千円増加した一方で、現金及び預金が190,507千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べて253,453千円減少し、427,658千円となりました。

これは主に、未払法人税等が120,017千円、未払金が77,889千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて89,276千円増加し、1,798,419千円となりました。

これは主に、利益剰余金が81,400千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、2025年12月期の業績予想については、2025年2月14日の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。現時点において、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,563,532	1,373,024
売掛金及び契約資産	486,269	483,642
前払費用	50,147	51,622
預け金	1,381	71,164
未収法人税等	1,882	669
その他	31,162	27,103
貸倒引当金	△3,162	△3,015
流動資産合計	2,131,212	2,004,212
固定資産		
有形固定資産	167	125
無形固定資産	102,581	108,947
投資その他の資産	156,294	112,793
固定資産合計	259,042	221,866
資産合計	2,390,255	2,226,078
負債の部		
流動負債		
買掛金	267,934	253,684
1年内返済予定の長期借入金	2,685	1,086
未払金	128,575	50,685
未払費用	19,862	5,869
未払法人税等	134,802	14,785
預り金	6,205	5,616
契約負債	114	45
株主優待引当金	70,101	69,875
その他	50,830	26,010
流動負債合計	681,112	427,658
負債合計	681,112	427,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,586	24,586
資本剰余金	925,438	925,438
利益剰余金	1,010,190	1,091,590
自己株式	△300,625	△300,625
株主資本合計	1,659,589	1,740,989
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	960	△1,602
その他有価証券評価差額金	249	249
その他の包括利益累計額合計	1,209	△1,352
新株予約権	48,344	58,783
純資産合計	1,709,142	1,798,419
負債純資産合計	2,390,255	2,226,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	885,758	930,767
売上原価	581,571	553,549
売上総利益	304,187	377,217
販売費及び一般管理費	185,327	237,279
営業利益	118,859	139,938
営業外収益		
受取利息	6	703
為替差益	—	409
助成金収入	1,213	—
その他	21	56
営業外収益合計	1,241	1,169
営業外費用		
支払利息	16	5
為替差損	2,123	—
支払手数料	1,892	—
営業外費用合計	4,033	5
経常利益	116,067	141,102
特別損失		
固定資産除却損	212	—
投資有価証券評価損	—	7,185
特別損失合計	212	7,185
税金等調整前四半期純利益	115,854	133,917
法人税、住民税及び事業税	23,136	14,893
法人税等調整額	20,036	37,624
法人税等合計	43,173	52,517
四半期純利益	72,681	81,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	72,681	81,400

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	72,681	81,400
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	4,801	△2,562
その他の包括利益合計	4,801	△2,562
四半期包括利益	77,483	78,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,483	78,837
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

自己株式の取得

2023年11月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式124,600株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が155,300千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が300,625千円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	5,879千円	8,053千円
のれんの償却額	327千円	327千円

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、Smart AI Engagement事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。